



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 31 日

上場会社名 丸藤シートパイル株式会社 上場取引所 東証第二部
 コード番号 8046 URL <http://www.mrfj.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎治雄
 問合せ先責任者 (役職名) 市場情報室長 (氏名) 庄司清志 TEL (03)3242-7641

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第1四半期	8,909 25.1	49 △51.4	72 △30.3	54 △43.3
19年3月期第1四半期	7,119 △2.4	100 —	104 —	96 —
19年3月期	35,209	1,171	1,215	479

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	1 47	—
19年3月期第1四半期	2 54	—
19年3月期	12 70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	43,300	23,164	53.5	622 00
19年3月期第1四半期	40,216	23,206	57.7	612 82
19年3月期	44,610	23,393	52.4	628 12

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	78	△89	188	1,066
19年3月期第1四半期	△358	△84	656	1,469
19年3月期	343	△164	△547	887

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第1四半期末
	円 銭
19年3月期第1四半期	—
20年3月期第1四半期	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	16,400	10.0	120	△21.6	140	△14.6	40	—	1	7
通期	34,800	△1.2	960	△18.0	1,000	△17.7	500	4.4	13	43

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
[新規 一社(社名) 除外 一社(社名)]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成19年5月15日発表の連結業績予想を修正しておりません。上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において、入手可能な且つ合理的であると判断した情報に基づく見通しであります。さまざまな不確定要因が内在するため、実際の業績は上記予想と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

わが国経済は、緩やかな回復基調が続いておりますが、原材料価格の更なる上昇懸念、金利の先高感など不安定要因もあります。

建設業界の状況につきましては、都市圏を中心に民間の建設投資は堅調であります。公共事業は引き続き減少を続けており、厳しい受注競争が行われております。

建設業界の一翼を担う当重仮設資材のリース業界におきましても、厳しい経営環境が続いております。このような中で当第1四半期の売上高は、前年同四半期に比べ、販売、工事の売上が拡大しましたこと等により、89億9百万円（前年同四半期比17億89百万円増）となりました。

利益面におきましては、鋼材仕入れ価格の上昇により原価率が上昇し、売上総利益は12億16百万円（前年同四半期比28百万円増）となりました。販売費及び一般管理費11億67百万円を差引いた営業利益は49百万円（前年同期比51百万円減）となりましたが、横浜工場跡地の受取地代家賃が寄与し始めましたこともあり経常利益は72百万円（前年同期比31百万円減）となりました。これに特別損益と税金等を加減した結果、四半期純利益は54百万円（前年同四半期比41百万円減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億10百万円減少した433億円となりました。その主な増減は、流動資産におきまして現金及び預金が1億78百万円増加し、受取手形及び売掛金が7億62百万円、たな卸資産が8億22百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ10億81百万円減少した201億35百万円となりました。その主な増減は、支払手形及び買掛金が16億31百万円減少し、一年以内返済予定の長期借入金と長期借入金に合わせて3億77百万円増加したことによるものであります。

純資産は、剰余金の配当による減少等により2億28百万円減少し、231億64百万円となりました。
(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、78百万円の収入となりました。主なプラス要因は、売上債権の減少額7億62百万円、たな卸資産の減少額8億22百万円であり、主なマイナス要因は、仕入債務の減少額16億31百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、89百万円の支出となりました。主なマイナス要因は、有形・無形固定資産の取得による支出46百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億88百万円の収入となりました。主なプラス要因は、長期借入れによる収入4億円であり、主なマイナス要因は、配当金の支払額1億87百万円であります。

以上の結果、当第1四半期における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末より1億78百万円増加した10億66百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期業績は、概ね予想した範囲内でありますので、現時点では平成19年5月15日発表の中間期および通期業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

たな卸資産に関して、実地たな卸を行わず、帳簿たな卸による方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当連結会計年度より法人税の改正により、改正法人税法に規定する減価償却費を計上しております。なお、この変更に伴う営業利益、経常利益、四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 〔第1四半期末〕		当四半期 〔平成20年3月期〕 〔第1四半期末〕		増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)		
	金 額		金 額		金 額	増減率	金 額		
(資 産 の 部)						%			
I 流 動 資 産									
1. 現 金 及 び 預 金		1,469		1,066	△ 403	△ 27.5		887	
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金		13,362		16,727	3,365	25.2		17,490	
3. た な 卸 資 産		13,937		14,217	280	2.0		15,040	
4. そ の 他		409		438	28	7.0		422	
貸 倒 引 当 金		△ 46		△ 25	21	—		△ 76	
流 動 資 産 計		29,132		32,424	3,292	11.3		33,763	
II 固 定 資 産									
1. 有 形 固 定 資 産									
(1) 土 地		6,005		6,005				6,005	
(2) そ の 他		2,419	8,424	2,240	8,245	△ 178	△ 2.1	2,253	8,258
2. 無 形 固 定 資 産			79		71	△ 7	△ 9.9		76
3. 投 資 そ の 他 の 資 産									
(1) 投 資 有 価 証 券		1,800		1,805				1,779	
(2) そ の 他		1,172		945				956	
貸 倒 引 当 金		△ 392	2,580	△ 192	2,557	△ 22	△ 0.9	△ 224	2,512
固 定 資 産 計		11,084		10,875	△ 208	△ 1.9		10,847	
資 産 合 計		40,216		43,300	3,083	7.7		44,610	

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期末		当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期末		増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)	
	金 額		金 額		金 額	増減率	金 額	
(負 債 の 部)								
I 流 動 負 債								
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金		8,448		11,097	2,649	31.4		12,728
2. 短 期 借 入 金		6,080		5,180	△ 900	△ 14.8		5,180
3. 1年以内返済予定の長期借入金		—		137	137	—		—
4. 引 当 金		133		158	24	18.6		361
5. そ の 他		2,047		2,914	866	42.3		2,575
流 動 負 債 計		16,709		19,487	2,777	16.6		20,845
II 固 定 負 債								
1. 長 期 借 入 金		—		240	240	—		—
2. 引 当 金		29		14	△ 14	△ 50.0		14
3. そ の 他		271		393	122	45.0		356
固 定 負 債 計		301		648	347	115.4		371
負 債 合 計		17,010		20,135	3,125	18.4		21,217
(純 資 産 の 部)								
I 株 主 資 本								
1. 資 本 金		3,626		3,626	—	—		3,626
2. 資 本 剰 余 金		5,205		5,205	△ 0	△ 0.0		5,205
3. 利 益 剰 余 金		15,116		14,590	△ 526	△ 3.5		14,833
4. 自 己 株 式		△ 1,112		△ 635	477	—		△ 634
株 主 資 本 合 計		22,836		22,787	△ 49	△ 0.2		23,030
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等								
1. その他有価証券評価差額金		370		377	7	2.0		362
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		370		377	7	2.0		362
純 資 産 合 計		23,206		23,164	△ 41	△ 0.2		23,393
負 債 及 び 純 資 産 合 計		40,216		43,300	3,083	7.7		44,610

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期		当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期		増 減		(参考)前期 平成19年3月期	
	金 額		金 額		金 額	増減率	金 額	
I 売 上 高		7,119		8,909	1,789	25.1		35,209
II 売 上 原 価		5,931		7,692	1,761	29.7		29,484
売 上 総 利 益		1,187		1,216	28	2.4		5,724
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,086		1,167	80	7.4		4,552
営 業 利 益		100		49	△ 51	△ 51.4		1,171
IV 営 業 外 収 益								
1. 受 取 利 息 配 当 金	18		21				31	
2. そ の 他	15	34	26	47	13	40.3	97	128
V 営 業 外 費 用								
1. 支 払 利 息	14		19				66	
2. そ の 他	16	30	4	24	△ 6	△ 20.8	18	84
経 常 利 益		104		72	△ 31	△ 30.3		1,215
VI 特 別 利 益		82		55	△ 26	△ 32.4		92
VII 特 別 損 失		1		7	6	487.6		300
税金等調整前四半期(当期)純利益		185		120	△ 64	△ 34.8		1,007
法人税、住民税及び事業税	8		12				354	
法人税等調整額	80	89	53	66	△ 22	△ 25.6	173	528
四半期(当期)純利益		96		54	△ 41	△ 43.3		479

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	(参考) 前期 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	185	120	1,007
減 価 償 却 費	73	80	306
引 当 金 の 減 少 額	△ 412	△ 286	△ 337
売上債権の減少(増加△)額	2,444	762	△ 1,683
たな卸資産の減少(増加△)額	363	822	△ 746
仕入債務の増加(減少△)額	△ 2,910	△ 1,631	1,369
そ の 他	380	389	671
小 計	124	258	587
法人税等の支払額	△ 491	△ 336	△ 510
そ の 他	8	157	265
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 358	78	343
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 95	△ 46	△ 300
そ の 他	11	△ 42	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 84	△ 89	△ 164
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額	900	—	—
長期借入れによる収入	—	400	—
長期借入金の返済による支出	—	△ 22	—
自己株式の取得による支出	△ 55	△ 0	△ 243
配 当 金 の 支 払 額	△ 188	△ 187	△ 304
財務活動によるキャッシュ・フロー	656	188	△ 547
IV 現金及び現金同等物の増加(減少△)額	213	178	△ 368
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,256	887	1,256
VI 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,469	1,066	887